

ACT Japan 2020 年度・年次ミーティング プログラム

【日程】2021 年 3 月 13 日（土）～3 月 14 日（日）

2020 年度年次ミーティング開催責任者

マネージャー 伊井 俊貴（ACT Japan 理事/メンタルコンパス株式会社）

サブマネージャー 瀬口 篤史（ACT Japan 理事/犬山病院）

大会企画委員 井上和哉（早稲田大学人間科学学術員）、久留宮由貴江（シカゴスクール オブプロフェッショナルサイコロジー）、斎藤順一（早稲田大学総合研究機構）、嶋大樹（同志社大学心理学部）、首藤祐介（広島国際大学）、林幹浩（株式会社ビスメド）本田暉（ウェルネス高井クリニック）、柳澤博紀（犬山病院）、渡辺孝文（名古屋市立大学大学院 医学研究科 精神・認知・行動医学分野）（あいうえお順）

【テーマ】「プロセスに基づいた CBT」

テーマは昨年度を継承して「プロセスに基づいた CBT」としました。プロセスとは疾患に対するプロトコールではなく、変化のプロセスそのものにアプローチする方法で、2017 年 Steven C Hayes 博士と第 2 世代認知行動療法における不安障害研究の第一人者 Stefan G Hofmann 博士が共同で発表した概念です。従来のエビデンスに基づく治療における答える 正しい問いは、「不安障害に対して CBT は効果があるか？」「発達障害に対して応用行動分析は効果があるか？」など「どの治療法を、どういう人が行えば、これこれといった特定の問題を抱えた、これこれの人に、最も効果的なのか？またそれは、どの条件のもとで、どのようにして効果を及ぼすか？」です。

一方でプロセスに基づいた介入における効果的な問いは「この目標とこの状況で、このクライアントのどのような生物学的・心理社会的コアプロセスに照準を定めるべきなのか、そしてどうすればそれらコアプロセスを最も十分かつ効果的に変化させることができるだろうか？」です。この立場に立つと、医療や心理療法だけではなく多様なアプローチがコアプロセスを変化させるための手段となります。例えば、仕事に行けないクライアントを変化させるために最も効果的な手段は会社の組織を変えることかもしれませんし、クライアントを取り巻く社会からのアプローチが最も効果的な方法かもしれません。

コロナウイルスの影響で様々な変化が 10 年早まったとも言われます。変化の激しい時代において、ACT のコアプロセスの 1 つである心理的柔軟性が効果を発揮する場面は少なくありません。今後オンラインを使った介入や、メンタル不調の予防ニーズなど、これまでとは違ったアプローチを必要とされる機会も増えてくることが予測されます。今回のオンライン開催が ACT の幅広い展開に対して議論できる機会となるよう企画委員一同尽力してまいります。

【場所】 オンラインで Zoom を使って開催します。

【参加条件】 「ACT Japan の会員、あるいは心理関連領域の専門職および学部生、大学院生、および本会活動に関心のある方」

【参加費】 一般 会員 0 円（会員であることを確認します。） 一般 非会員 3,000 円
大学院生・学部生(会員非会員を問わず) 0 円（学生であることを確認します。）

※申し込み時にクレジットカードでお支払いください

※なお、ACT Japan への入会申込みは、随時、ホームページから受付けておりますが、入会 は理事会での審議にて決定されます。次回の理事会は1月末を予定しております。3月の年次ミーティング開催時に、会員扱いとなるのは、次回(1月末)の理事会にて入会が承認された方まで、が対象となります。

【リモート懇親会費】(会員非会員を問わず) 0 円

【発表者へのお知らせ】発表は Zoom で行います。詳細は座長から発表者に連絡します。ポスター発表に関しては開催方法が決定次第、第2報で募集する予定です。

【参加申込の方法】参加はすべて事前の申し込みが必要です。下記リンクより 2021 年 2 月 26 日(金)までに必ずお申し込みください。<https://actjapan-2020.peatix.com>

1 日目 2021 年 3 月 13 日(土) 場所: Zoom

13:00~13:20 受付・主旨説明

13:30~15:00 <シンポジウム> 座長：嶋大樹・本田暉【ACTへ踏み出す】

15:10~18:20 <ワークショップ> 講師：柳澤博紀・瀬口篤史・齋藤順一・井上和哉

【行動を継続的に測定して臨床のプロセスを重視する】

18:30~19:00 ポスターの閲覧方法・リモート懇親会に参加方法の説明

19:00~ 懇親会（リモートで予定）

2 日目 2021 年 3 月 14 日(日) 場所: Zoom

9:30~10:00 総会

10:00~10:30 <活動報告> 座長：林幹浩【職域で ACT を生かす】

10:40~12:10 <大会企画シンポジウム①> 座長：井上和哉

【日本の ACT と RFT 研究の最前線—世界に追いつくために出来ること】

12:10~13:00 休憩

13:00~15:00 <大会企画シンポジウム②> 座長：伊井俊貴・久留宮由貴江

【個人から組織そして社会へ】

15:00~15:30 閉会